

嫌気性排水処理システムを導入し、エネルギーの有効利用と水質浄化

1 事業の主体

事業実施主体	アサヒビール（株）福島工場	代表者	福島 修二
住所	福島県安達郡本宮町大字荒井字上前畑 1	電話番号	0243-33-4117

2 地域の現状 （施設が所在する市町村又はバイオマス利活用に地域との関連がある場合はその市町村のデータ） 施設が所在する市町村名：（本宮町）

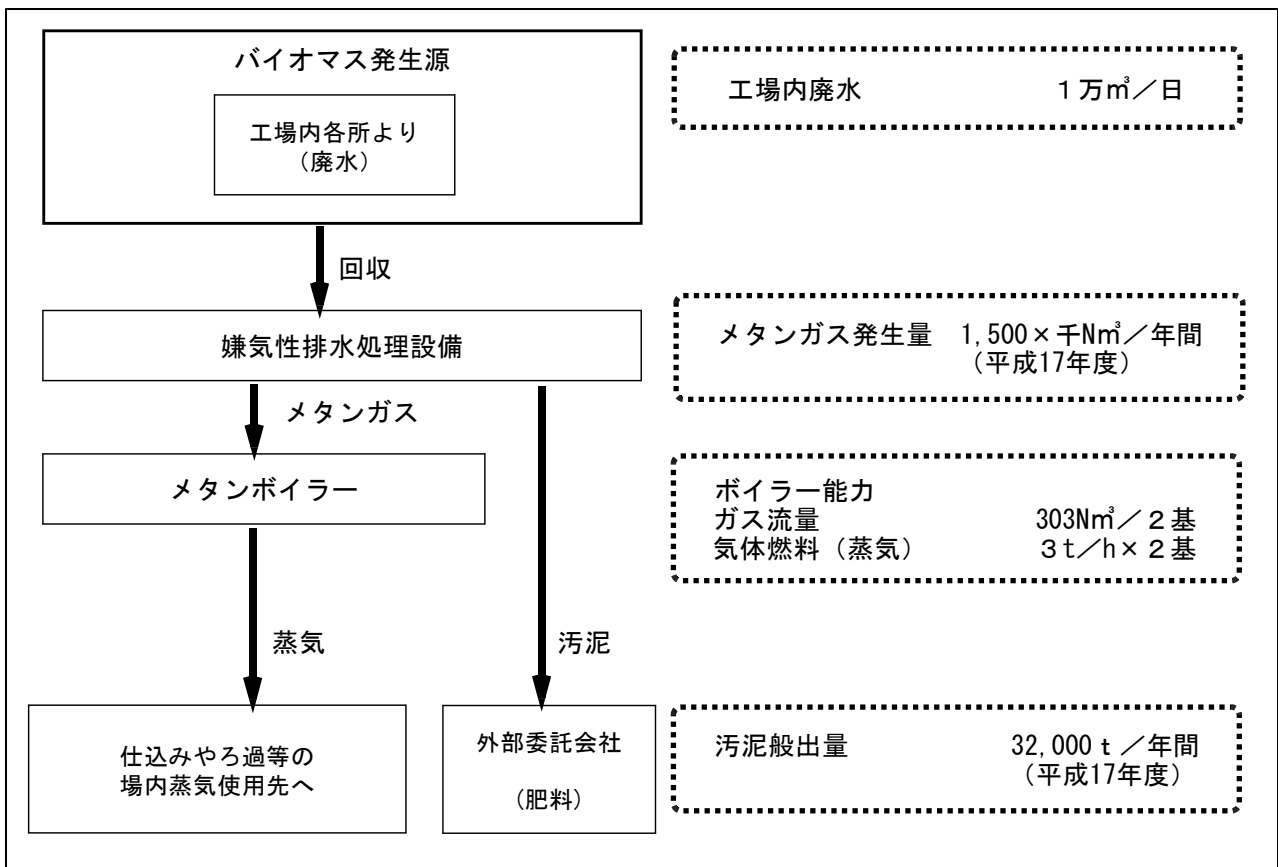
総世帯数	6,957 戸	農家数	851 戸	林業経営体数	7 戸	漁業経営体数	- 戸
総人口	22,180 人	総土地面積	3,954 ha	林野面積	1,200 ha	田耕地面積	972 ha
普通畑面積	171 ha	樹園地面積	11 ha	牧草地面積	13 ha	乳用牛頭数	70 頭
肉用牛頭数	70 頭	豚頭数	x 頭	採卵鶏羽数	- 羽		

3 事業の概要 （事業を行うに至った背景、取組行程もあわせて記入）

福島県安達郡本宮町にある、アサヒビール（株）福島工場では、省エネルギー・コスト施策の一環として、平成5年から嫌気性排水処理システム（メタノスリクス菌を用いたメタン発酵により廃水を浄化するシステム）を導入して電力使用量、汚泥排出量を削減するとともに、発生するメタンガスをボイラーの気体燃料として使用する取組を行っている。
さらに、製造工程で発生する汚泥については、外部委託され肥料として再資源化されている。

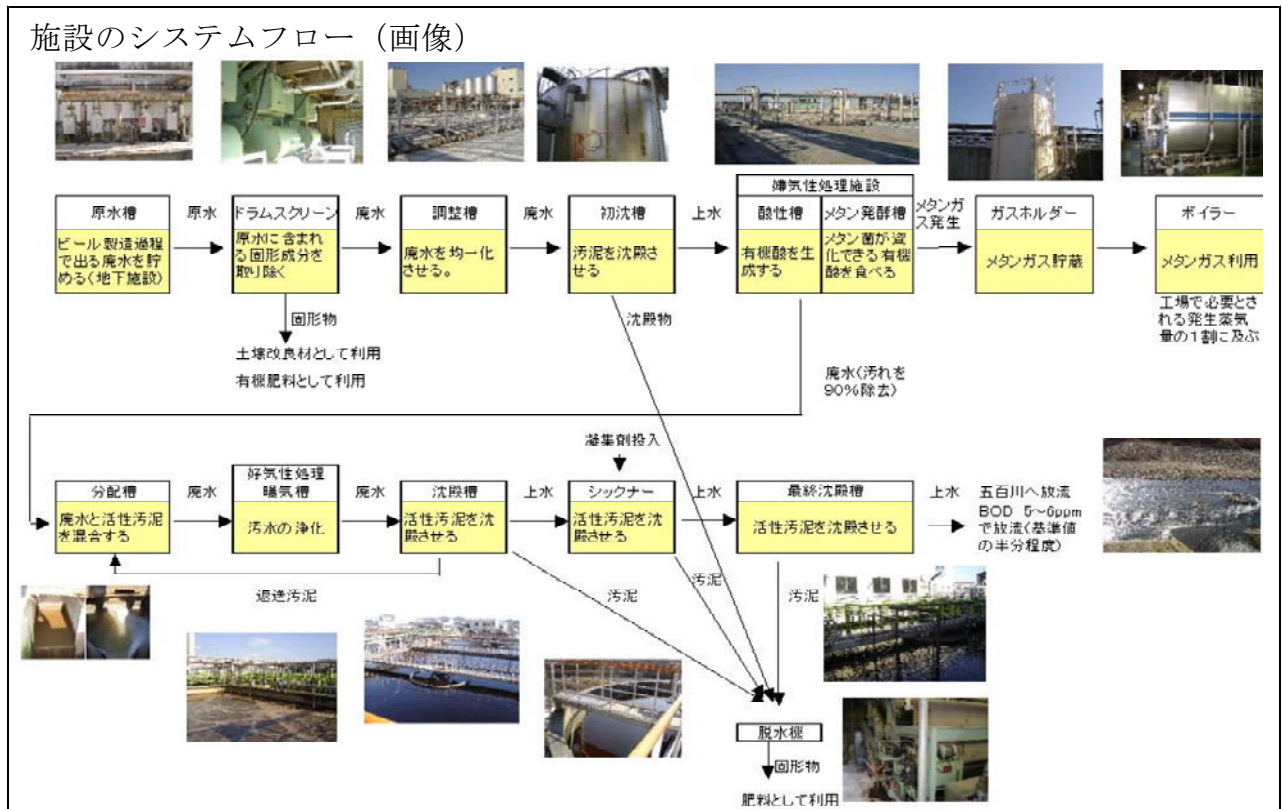
4 現在の取組状況

推進体制、収集システム （バイオマス利活用の関係団体等のフロー図）



5 施設の概要

施設名称	嫌気性排水処理システム	電話番号	0243-33-4117
施設設置主体	アサヒビール（株）福島工場	稼働開始年	平成 5 年
導入補助事業	無		
主な設備	嫌気性処理施設 好気性処理施設	施設整備費 運転状況等	(不明) 千円 1日の稼働時間： 24 時間 年間の稼働日数： 365 日



6 経済試算（ランニングコスト、施設の減価償却費、耐用年数）

経済試算は非公開。

7 経済面以外の資産（事業の効果（実績）、今後期待される効果）

同工場はISO14001認証を取得、工場長が委員長を務める「ISO環境管理委員会」を設置し、環境活動を推進している。

廃棄物・副産物（資源として再利用されるもの）について、100%再資源化を達成している。（廃棄物については、徹底した品目別の分別により再資源化している。）

8 現在の課題と展開方向

最適運転管理などによりメタノスリクス菌が活発となってメタンボイラー能力を上回ってメタンガスが発生したり、また、蒸気エネルギーの使用先がなくメタンガスボイラーの運転を中止する場合があります。メタンガスの有効利用のためにはメタンガスの利用先を広げる必要があります。

そのため、メタンガスの有効利用を図るコ・ジェネレーションシステム（メタンガスから蒸気・電力等の複数のエネルギーを取り出せる施設システム）を19年7月に導入する予定であり、従来のメタンボイラーとの併用でメタンガスの効率的利用を図っていきたい。